様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	秩父看護専門学校
設置者名	一般社団法人秩父郡市医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	43 単位 (1,170 時間)	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://chichibu-kango.com 申請書に付随する追加資料に掲載

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	秩父看護専門学校
設置者名	一般社団法人秩父郡市医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>学校が選任する学校関係者外部評価者により、学校の重点目標、計画の実施についての自己評価結果、評価結果に基づく今後の取り組み方針等の客観性及び適切性を評価する。</p> <p>自己評価結果を踏まえ、学校と関係する行政機関の代表者及び、実習先病院の管理者などの有識者からの意見を公表する。</p> <p>学校関係者評価委員会の評価結果や意見を学校運営に反映させ、学生の学力向上の他、健全な学校運営に努める。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
秩父市保健医療部保健医療部地域医療対策課長	2025.4.1 ~ 2027.3.31	
秩父市立病院看護部長	2025.4.1 ~ 2027.3.31	臨地実習施設
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秩父看護専門学校
設置者名	一般社団法人秩父都市医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p>	
<p>1 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、基礎分野、専門基礎分野、専門分野（基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践）の3分野で構成されている。各分野の考え方・目的・目標・科目構成および授業科目ごとの単位数・時間数・考え方・科目目標・単元主題・講義時期は「教育課程」に明記している。「教育課程」を記した講義要項を入学時に配付し、ガイダンスでオリエンテーションを実施している。</p>	
<p>2 授業科目毎のシラバスには、授業科目・講師名・単位数・時間数・履修年次・授業形式・授業内容・評価方法・使用教科書・参考図書を明記している。入学時に講義要項として学生に配付し、年度初めに外部講師・専任教員に配付している。さらに科目開講時には進度月日を入れたシラバスを学生に配付している。</p>	
<p>3 講師控室には教育課程・シラバスを配架し、いつでも閲覧可能としている。</p>	
<p>4 成績評価は、学則の「学習評価・単位および卒業の認定に関する規程」に基づき審議し、学校長が認定している。</p>	
<p>5 学生の成績公表は、1・2年生は3月末、3年生は卒業時に個別の成績表（学年順位明記）を保護者宛に発送している。また、学生・保護者面談の対象者には、適宜成績表を公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://chichibu-kango.com/ 申請書に付随する追加資料に掲載
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則規定に基づき、「教育課程及び単位数、単位の認定及び卒業」に関し必要事項を定めている。</p> <p>学習の評価は、履修科目毎に筆記、口頭、実技、レポートによる評価がなされ、実習の評価は、実習施設の指導者の評価を参考にし、実習を担当した専任教員が評価を行っている。評価はA～Dの4段階に区分し、認定会議後、運営会議（成績判定会議）を経て、履修科目について学習評価をもとに合否判定を行い、校長はA～Cの評価を得たものに当該科目の認定を与えている。</p> <p>学則施行細則（単位の修得確認）第13条 校長は学校運営会の議を経て年度末に単位数の修得確認を行うと定めている。</p> <p>学則の「学習評価・単位および卒業の認定に関する規程」に則り、成績は厳格かつ適正に評価を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目毎に、試験及び実習の成績により、担当講師、専任教員が行う。試験及び実習の成績は、100点満点として点数で表示する。学習評価は4段階に区分しA～Cを合格とし単位を与える。</p> <p>ただし、当該科目の授業時間の3分の2以上出席しているものが評価の対象となる。</p> <p>実習成績評価は実習科目毎に行い、実習時間の5分の4以上出席したものが実習評価の対象となる。実習評価は、実習状況・出欠席・実習記録・カンファレンス等から指導教員が実施する。科目毎に100点満点で60以上を単位取得とする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧で公表</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

秩父看護専門学校学則 第5章 単位の認定及び卒業

(卒業認定) 第21条 「校長は、本校に3年以上在学し、本校所定の課程を修了した者には、課程の修了を認定し、卒業証書を授与する」と定めている。

秩父看護専門学校学則施行細則

(単位の修得認定)

第13条 「校長は、学校運営会の議を経て年度末に単位数の修得確認を行う」と定めている。

(卒業)

第14条 「学則第21条に定める卒業証書は、(様式第11号)のとおりとする」と定めている。

卒業は、終業年限3年、在学期間6年までとし、卒業認定に必要な105単位を習得した者に対し、学校運営の議を経て卒業可否の審議後、校長が認定し、卒業証書を授与することができる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧で公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	秩父看護専門学校
設置者名	一般社団法人秩父郡市医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室で閲覧 令和7年度定時総会資料
収支計算書又は損益計算書	事務室で閲覧 令和7年度定時総会資料
財産目録	事務室で閲覧 令和7年度定時総会資料
事業報告書	事務室で閲覧 令和7年度定時総会資料
監事による監査報告（書）	事務室で閲覧 令和7年度定時総会資料

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,396 時間 105 単位 単位時間/単位	2,145 時 間/81 単 位単位時 間/単位	30 時間/ 1 単位 単位時間 /単位	1,035 時 間 /23 単位 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	3,210 単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		48 人	0 人	8 人	2 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教育課程は、「人間」「環境」「健康」「看護」「教育」の基本概念と基礎分野・専門基礎分野・専門分野（基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践）の3分野で構成されている。各科目のねらいと設定理由、授業概要、授業計画・内容、開講学年、単位数・時間について明記している。3年間で履修する教育内容になっている。</p> <p>授業計画</p> <p>8月～11月 次年度の授業計画作成 前年度の授業内容・結果を踏まえて検討（校長、副校長、教務主任）</p> <p>12月 運営会議で確認</p> <p>1月～2月 全教員により次年度授業計画の確認</p> <p>3月～ 授業計画に基づき各科目担当者が授業計画案を作成</p> <p>公表</p> <p>4月始業後 「講義要項」を学生に配布、入学ガイダンスで説明</p>

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学則 第5章 単位の認定及び卒業</p> <p>(単位の授与)</p> <p>第18条 授業科目を履修し、その試験に合格した者に単位を与える。</p> <p>2 出席時間数が規程に定められた授業時間数に満たない授業科目については、認定を受けることができない。(欠席時間数が授業時間の3分の1、臨地実習では4分の1を超えるときは、試験を受けることができない)</p> <p>3 試験の結果が不合格であった者は、再試験を受けることができる。</p> <p>4 傷病又は疾病、その他やむを得ない理由により試験をうけられなかった者は、追試験を受けることができる。</p> <p>5 授業科目の成績評価は、A・B・C・Dの4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上、B:70点から79点、C:60点から69点、D:59点以下)</p> <p>(追試験)</p> <p>病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった者は、学校長の許可を得て追試験を受けることができる。追試験は原則としてその評定より2割を減じたものをもって得点とする。</p> <p>(再試験)</p> <p>定期試験の結果、不合格となった者は、学校長の許可を得て、再試験を受けることができる。再試験・再実習では合格基準を超えた場合であっても「C」と評価する。</p> <p>(単位認定)</p> <p>単位認定は担当教員が単位認定試験に合格した者に対して行う。</p> <p>上記内容を学則、細則で定め、学生に配布している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>修業年限は3年、在籍期間6年までとし、出席すべき日数が当該科目の3分の2以上で卒業に必要な105単位を修得した者に卒業を認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>国家試験対策</p> <p>模擬試験・おさらいテスト、なすぐらむによる学習傾向分析、医学映像セレクト、mediLink看護 看護師国家試験合格支援プログラムなどを取り入れ国家試験対策を行っている。</p> <p>その他学修支援</p> <p>1年次：入学前学習会、入学後学習会、個別学習会と学生の学習状況に合わせた支援を行っている。</p> <p>全学年：個別・グループ指導・クラス学習会など学習支援に力を入れている。</p> <p>クラス担当を設け、定期面談の他、必要時に面談を行っている。</p>

成績不振者に対して学習方法の助言・支援を行っている。
 長期休暇中には、看護技術練習や課題を出し学力・看護技術の定着を行っている。また、必要に応じて保護者面談を行い、情報の共有・学習支援の協力をお願いしている。

健康支援

健康診断の実施。感染予防、生活・健康管理の指導を行っている。
 月2回、スクールカウンセラーによる精神面のフォローも行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院に看護師として従事。			
(就職指導内容) 1, 2年生の後期に、秩父地域の施設（病院、医療施設等）を対象とした就職説明会を実施している。 2, 3年生対象に夏休み前に卒業後のイメージが出来、自分の進む方向性の参考となるよう卒業生を招き談話の機会を設けている。 学生談話室に卒業生からのメッセージを掲載し、就職の参考としている。 看護師募集要項、パンフレットが自由に閲覧できる環境を整えている。 就職、進学に向けて、小論文・願書・面接の個別指導を行っている。 就職・進路担当教員からのアドバイスも適宜行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 第114回看護師国家試験 合格率100%（12名中12名合格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71人	25人	35%
(中途退学の主な理由) 進路変更11名、学業不振6名、一身上の都合4名、病気2名、連絡取れず除籍2名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各学年に担当教員を配置し、学習面や生活面においてきめ細かく指導・助言を受けられる体制を作っている。 学校生活、出欠席、遅刻、課題提出遅れ等に関する情報、学習成績、実習等の様子について教職員が支援できるように情報を共有している。必要に応じて個別面談や学		

習支援を行っている。

実習担当教員による実習前面談を行い、実習に対する不安・ストレスの軽減に努めている。

スクールカウンセラーに月 2 回来てもらい、学生のメンタルヘルスへの対応について協力を得ている。

意見箱を設置し、学生の意見を取り上げる場所を整備している。また、ハラスメント防止対策としても意見箱を活用している。

経済的理由で学業を続けることが困難な学生へ、学生相談を行っている。

成績不振者、学校生活に支障がある学生は連帯保証人と連絡をとり、学習・生活支援について情報を共有し、協力を得ている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	200,000 円 250,000 円	420,000 円	252,000 円	入学金 250,000 円は秩父郡市以外からの入学者 その他は実習費 (120,000 円、 施設費 132,000 円)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
秩父地域外からの学生への家賃補助 (毎月上限 30,000 円)、公共交通機関の通学費 (毎月上限 10,000 円)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chichibu-kango.com/ (掲載予定) 事務室での閲覧 (学校運営委員会・学校関係者評価委員会議事録) による		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校評価の取り組みを通じて、組織的に重点的に取り組むべきこと等を把握して、学校運営の充実・改善に取り組む。</p> <p>学校評価委員会は次の事務を所掌する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学校評価の基本方針及び実施方法に関すること (2) 学校評価基準項目に関すること (3) 学校評価報告書の作成に関すること (4) 学校評価結果に基づく改善提案に関すること (5) 学校評価結果の公表に関すること (6) 自己評価に基づく助言に関すること (7) その他学校評価に必要な事項に関すること <p>学校評価委員会は年 1 回以上開催し、重点目標、評価項目、指標等を見直し、完全方針等を広く公表する。</p> <p>学校評価委員は、以下のメンバーで構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域医療に精通し、学校運営に関しての知見を有する者 (2) 養成教育に関わる臨地実習施設関係者 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
秩父市役所	2025. 4. 1～2027. 3. 31	地域医療対策課長
秩父市立病院	2025. 4. 1～2027. 3. 31	看護部長

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chichibu-kango.com/ (掲載予定) 事務室での閲覧 (学校運営委員会・学校関係者評価委員会議事録) による
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chichibu-kango.com/
--